



静岡銀行

What's SHIZU-GIN?

第115期 営業のご報告

2021
June

第14次中期経営計画

COLORs

～多彩～



Shizuoin
Solutions!



地域のお客さまの夢の実現に寄り添う 課題解決型企業グループへの変革

基本理念 地域とともに夢と豊かさを広げます。



昨年来、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、静岡県経済も大きな打撃を受けています。コロナ禍の1年を経て、静岡県内の産業は総じて持ち直しの方向にあるものの、感染防止対策が消費活動の足かせとなり、飲食サービス業や観光業等で厳しい状況が続いているほか、主力の自動車産業でも半導体不足の影響が深刻化するなど、不安材料は多く、未だ回復に向けた足どりは緩慢な状況にあります。

一方、コロナ禍を経て「デジタル」「グリーン」「ダイバーシティ(多様性)」という3つの不可逆的な変化が加速し、時代は大きく変わろうとしています。

こうしたなか、静岡銀行グループでは、いかなる時代、環境にあっても、地域を支え、地域とともに持続的な成長を実現するため、第14次中期経営計画「COLORs～多彩～」を昨年4月にスタートさせました。この計画では長期的にめざす姿として10年ビジョン「地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ」を掲げるとともに、その実現に向け計画の3年間で課題解決型企業グループへの変革をめざしています。

初年度となる2020年度の主な取り組みは本誌でお示ししたとおりですが、一例を紹介しま

すと、持続可能な開発目標であるSDGsに積極的に取り組む企業向けの融資「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を国内で初めて中小企業向けの融資制度として確立し、実行しました。これは、環境や社会に与えるポジティブなインパクトを向上させ、ネガティブなインパクトを低減する企業活動を支援する融資で、SDGs達成への貢献度合いを評価指標としています。静岡銀行グループでは、お客さまの支援においても「地域の持続的成長」という視点を持って、皆さまと一緒に地域の未来づくりに努めてまいります。

このほかにも、不可逆的な変化に対応するためのお取引先支援を拡充し、グループ一丸となってお客さまの課題解決に取り組んでいます。たとえばデジタル化の支援として、先端テクノロジーを有する首都圏のスタートアップ企業と静岡県内企業とのビジネスマッチングフェアと静岡県内企業とのビジネスマッチングフェアを開催したほか、2021年度からは、グループ会社の静岡ITソリューション株式会社が、地域のお客さまのDX推進・IT化を支援するサービスの提供を開始する予定です。

また、静岡銀行グループにおいても、DX戦略

を支える基盤となる次世代勘定系システムを稼働させたほか、環境や社会に対して負の影響を助長する可能性がある石炭火力発電向けなどの投融资方針を明確化するなど、政府が進めるカーボンニュートラルの実現に向けた対応を強化しています。さらに、ダイバーシティの推進に向けては、地域のスポーツ団体に所属する人材の採用や、28年ぶりの高卒採用再開、役職員の社内外における副業・兼業の積極的な推進など、さまざまな知見・経験・能力を掛け合わせることで、従来にない発想や、新たな付加価値を生み出す組織文化への変革に力を注いでいます。

今起きている変化は決して逆戻りすることはなく、この先には従来の延長線上にはない新たな時代が待っています。地域の姿もまた変わってゆくことでしょう。その未来に彩りを与え、希望に満ちた地域へと変えてゆく主人公は、そこで暮らす皆さま一人ひとりにほかなりません。私たちも一つひとつの夢の実現に寄り添いながら、グループの総力をあげて積極果敢な挑戦を続けてまいりたいと思います。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

頭取 柴田 久

Contents	1 Top Message	9 課題解決型企業グループをめざして	13 地域社会への貢献
	3 第14次中期経営計画	11 営業のご報告	17 第115期営業のご報告
	5 Topics	12 Shizugin-ship	21 決算情報
	7 地方創生		

COLORS

～多彩～

基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、地域社会の豊かな未来の創造に向けて、静岡銀行グループが一体となって「課題解決型企業グループ」への変革に取り組んでいます。



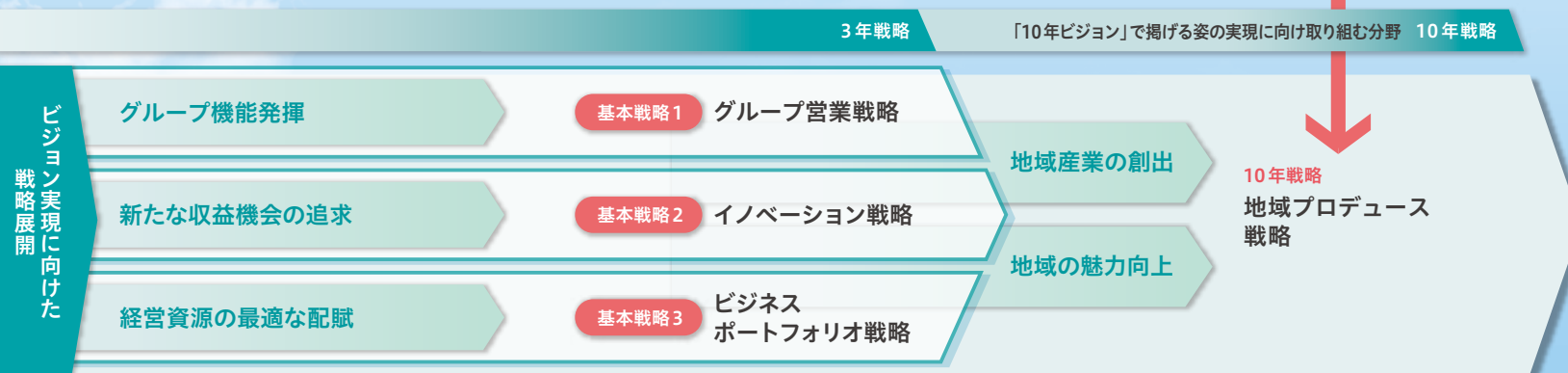
グループ
ビジョン

3年ビジョン
地域のお客さまの夢の実現に寄り添う
課題解決型企業グループへの変革

地域から必要とされる
企業グループへ

10年ビジョン

地域の未来にコミットし地域の成長を
プロデュースする企業グループ



■ 山梨中央銀行との包括業務提携「静岡・山梨アライアンス」

2020年10月、山梨中央銀行と包括業務提携「静岡・山梨アライアンス」を締結し、頭取、役員、部長級の3階層でプロジェクトチームを設置。部長級のプロジェクトチームでは、地方創生、市場金融、人事戦略など10の分科会を設け、これまでに80回を超えるミーティングを実施するなど、幅広い分野での協業に取り組んでいます。



2020年度のおもな協業事業

人事交流	協業の実効性を高めるため、ストラクチャードファイナンス分野、DX・イノベーション分野、証券分野など、17名の人事交流を実施
顧客向けセミナー	観光事業者向け「ワーケーションセミナー」、医療機関向け「事業承継セミナー」を開催
商談会	両県の地産品の消費拡大をめざして、両行のお客さまをサプライヤーとする個別商談会を実施
静銀ティーエム証券山梨本店の開設	山梨中央銀行と金融商品仲介業務等に係る提携契約を締結し、「静銀ティーエム証券山梨本店」をオープン
各種交流会の実施	「Shizuginship」全体フォーラムに「山梨ちゅうぎん経営者クラブ」会員や山梨中央銀行の行員が参加したり、若手行員交流会や部活動交流戦などを実施

■ 「しずぎんラップ」のラインアップを拡充～対面型を追加

2020年10月、静岡銀行グループが提供する投資一任運用サービス「しずぎんラップ」に、対面サポート型の2商品を追加しました。これにより、従来の非対面型サービス「ON COMPASS」とともに、お客さまの長期にわたる資産形成・資産運用をサポートしています。

追加商品 (対面サポート型)

- しずぎんラップ「ウエルス・スクエア」(投資一任業者(株)ウエルス・スクエア)
- しずぎんラップ「ON COMPASS+」(投資一任業者マネックス・アセットマネジメント(株))

〈商品内容〉・お客さまへの資産運用に関するヒヤリングをもとに適切な運用コース(資産配分)をご提案し、お客さまに代わって投資の判断や売買など資産運用・管理のすべてを行い、定期的に運用報告を行う



■ 遺言信託業務の取扱開始

2021年4月、遺言書の作成から相続手続きの執行までをサポートする遺言信託業務の取扱を開始しました。

静岡銀行グループは、人生100年時代におけるお客さまのもっとも身近なパートナーとして、資産承継に関わるさまざまなご相談にワンストップでお応えします。

〈業務内容〉 遺言書の作成サポート、遺言書の保管、遺言の執行



国内初！中小企業向け「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結

2021年1月、自動車用シートの裁断や縫製を手がける平野ビニール工業(株)に対し、国連環境計画金融イニシアティブが提唱する「ポジティブ・インパクト金融原則」に基づく「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による融資を実行し、同社の「SDGs」への取り組みを支援しています。



〈融資金額〉1億円 〈資金使途〉運転資金

〈インパクト評価〉一般財団法人静岡経済研究所が(株)日本格付研究所の協力を得て、地域金融機関ならではの中小企業向けのインパクト評価を実施。期待できる活動として、外国人従業員に対する雇用環境の整備など「多文化共生」、地元伝統産業の活性化など「サプライチェーン維持」や「地域経済活性化」があげられた

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは

企業活動が環境や社会、経済に与える影響を分析・評価し、特定された好影響の向上と悪影響の低減に向けた取り組みを支援する融資。企業のSDGs達成への貢献度合いを評価指標とし、その過程を情報開示する

中小企業では日本で初めてポジティブ・インパクト・ファイナンスの融資を受け、マスコミにも広く取り上げていただいたことで、当社の多文化共生に対する取り組みが全国規模で注目されています。今後も、こうした取り組みが少しでも世の中の役に立ち、多文化共生社会の実現に貢献できればと思っています。

平野ビニール工業(株)
代表取締役社長
平野利直 氏



地域における「人材マッチング事業」への取り組み

地域における雇用機会の創出と人材還流をめざして、「人材マッチング事業」に取り組んでいます。

スター精密(株)と「連携協定書」を締結 ～地域内での人材還流を促進～

〈締結日〉2020年10月23日
〈提携内容〉

- 静岡銀行からスター精密へ同社の人材を求める県内企業の紹介
- スター精密従業員のセカンドキャリア開発に対して静岡銀行が伴走支援
- 県内企業が直面する経営課題に対し、両社が連携して解決支援に取り組む



(株)リクルートキャリアコンサルティングとの協業 ～静岡県内における人材マッチング・雇用創出～

〈おもな連携内容〉職業紹介サービス説明会の共同開催

【日時】2020年10月20日
第1弾 【会場】アゴラ沼津 5階 中会議室
【参加者】約30名(リクルートキャリアコンサルティング登録者)

- 大手企業出身の即戦力人材の紹介
- 静岡県内での人材還流モデルの形成



「次世代勘定系システム」の稼働開始

2021年1月、より先進的な金融システムの実現をめざして、勘定系システムを刷新しました。勘定系システムとは、口座管理や送金、資金決済など銀行の中核業務を担うもので、今般、オープン系技術を採用し、最新技術を活用した金融サービスの柔軟かつ迅速な連携を可能としました。今後は、スマホ金融サービスの拡充や外部クラウドサービスの活用など、お客さまのニーズに対応した付加価値の高い商品・サービスの提供に取り組めます。

三島信用金庫との共同店舗オープン！

2021年2月、河津出張所において三島信用金庫河津支店との共同店舗を開始しました。これは、静岡銀行と三島信用金庫で検討を進める非競争分野での協業策の一つで、業務の移管などで余剰スペースが生じていた河津出張所内に、店舗の老朽化が進んでいた三島信用金庫河津支店が移転したものです。



- 営業室は仕切られた独立スペースとし、ロビーやATMコーナーは共有スペースとした

地方銀行初！「The Valuable 500」に加盟

2021年2月、障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」の考え方に賛同し、地方銀行では初めてとなる加盟を行いました。



2019年の世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)で発足した組織
現在、世界の400社超が加盟している

静岡銀行のコミットメント

- 障がいのある従業員の雇用と活躍の推進
- 障がいのあるお客さまに安心してご利用いただける店舗環境の整備、サービスの提供
- 障がい者の活動の社会的認知度向上に向けた取り組み

「しずぎん電子契約サービス」の取扱開始

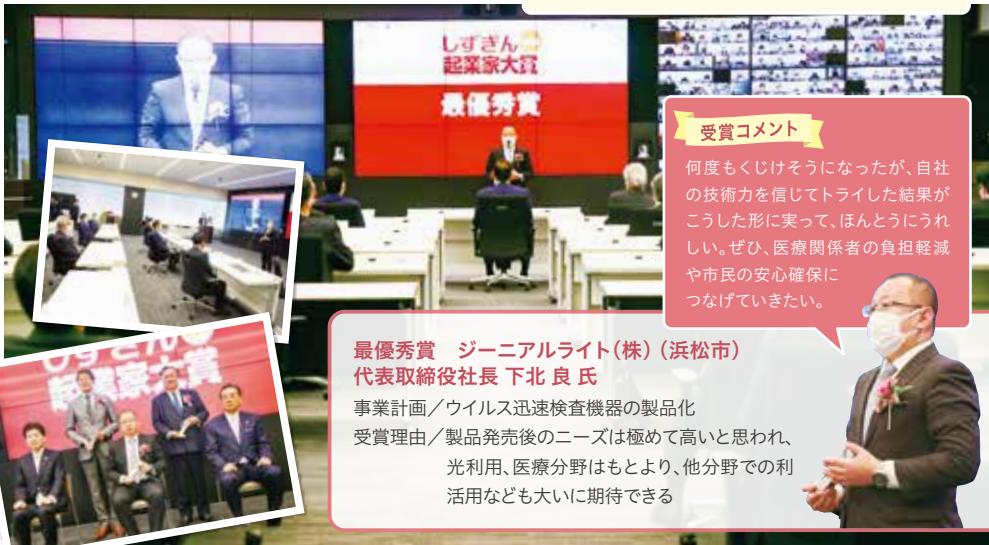
「住宅ローン(完全非対面型)」ならびに「しずぎんビジネスクイックローン」に電子契約サービスの導入を開始しました。これにより、契約手続きがインターネット上で完結できるため、借入れまでの期間を短縮できるとともに、紙の契約書がなくなり、従来お客さまが負担されていた収入印紙代も不要となりました。



第8回「しずぎん起業家大賞」の実施

地域経済の新しい時代を切り拓くフロントランナーとして、革新的・創造的な事業に取り組む起業家を応援する「しずぎん起業家大賞」。2020年度は、「コロナに打ち勝つ!～新常态(ニューノーマル)時代の事業創出～」をテーマに事業プランを募集し、応募総数110件の中から、受賞者7名を決定しました。

- 部門別優秀賞**
 - 新規事業部門 / (株)エイディーディー (沼津市)
 - 創業部門 / 西伊豆産地直売企業組合 (西伊豆町)
- 学生アイデア賞**
 - Dropy(株) (大阪市)
- コロナ対策アイデア賞**
 - (株)イーグステクノロジーズ (沼津市)
- DX賞**
 - (有)クロマニヨン (浜松市)
- 地方移住賞**
 - 青山沙織 (沼津市)



受賞コメント

何度もくじけそうになったが、自社の技術力を信じてトライした結果がこうした形に実って、ほんとうにうれしい。ぜひ、医療関係者の負担軽減や市民の安心確保につなげていきたい。

最優秀賞 ジーナルライト(株) (浜松市) 代表取締役社長 下北 良 氏

事業計画/ウイルス迅速検査機器の製品化
受賞理由/製品発売後のニーズは極めて高いと思われ、光利用、医療分野はもとより、他分野での利活用なども大いに期待できる



NTTドコモ東海支社と「災害時のサービス提供に関する協定」を締結

2021年3月、NTTドコモ東海支社と、災害発生時に相互が保有する設備や機器、施設などを有効に活用する協定を締結。静岡銀行本部の敷地をドコモの災害復旧活動の拠点とし、通信等の迅速かつ的確な復旧に取り組みます。また、静岡銀行の静岡県内店10店舗および本部に、災害時に使用できる「携帯電話用充電器(マルチチャージャー)」を配備し、携帯電話無料充電サービスを提供します。

静岡銀行の 携帯電話用充電器(マルチチャージャー)配備場所

東部地区	富士支店、三島支店、御殿場支店
中部地区	本部、登呂支店、清水中央支店、藤枝駅支店
西部地区	掛川支店、浜松中央支店、葵町支店、浜北支店



▲NTTドコモの「携帯電話用充電器」

〈医療×農業〉TECH BEAT Shizuokaを開催

静岡県内企業と首都圏のスタートアップ企業をつなぐ「TECH BEAT Shizuoka」。2020年度下期には、医療・健康分野をテーマとした「TECH BEAT Shizuoka for Medical Startups」、スマート農業をテーマとした「TECH BEAT Shizuoka for Agri」を開催しました。

TECH BEAT Shizuoka for Medical Startups

- 【開催日】2020年11月25日
- 【参加登録者数】809名
- 【総視聴回数】2,815回(アーカイブ配信含む)
- 【総商談件数】11件



参加者の声

- レベルの高い講演と先進的な取組事例の紹介によって有益な情報収集につながった
- 知らなかった情報ばかりで、とても有意義な時間だった

参加者の声

- セッションに登場される方の熱意が伝わり、ワクワクした
- あらためて農業分野の進化を実感した
- 広範囲におけるベンチャー企業の可能性を感じた



- 【開催日】2021年2月24日
- 【参加登録者数】722名
- 【総視聴回数】2,034回(アーカイブ配信含む)
- 【総商談件数】79件



TECH BEAT Shizuoka for Agri

「静岡中小企業支援6号ファンド」の設立

新型コロナウイルスの影響で経営が悪化している中小企業の再生支援などを目的に、グループ会社の静岡キャピタル(株)と県内の12金融機関などが連携して設立しました。

- 【設立日】2021年1月28日
- 【ファンド規模】50億円
- 【出資期間】10年
- 【出資者】

独立行政法人中小企業基盤整備機構、静岡県信用保証協会、県内12金融機関、静岡キャピタル

これまでの実績

	1号ファンド	2号ファンド	3号ファンド	4号ファンド	5号ファンド
設立年	2004年	2006年	2009年	2013年	2017年
ファンド規模	40億円	60億円	40億円	40億円	40億円
投資先	13件(15社)	15件(16社)	9件(9社)	14件(14社)	7件(9社)

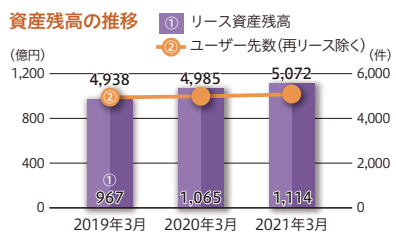
日本赤十字社静岡県支部と「遺贈に関する協定」を締結

2021年3月、ご自身の財産を社会貢献に役立てたいというお客さまの思いに応えるため、日本赤十字社静岡県支部と「遺贈に関する協定」を締結しました。静岡銀行での遺贈に関する協定締結は、浜松市、浜松医科大学に次いで3例目となります。



経営サポート

静岡銀行と静岡リースでは、融資とリースを組み合わせたい提案などを通じて、お客さまが直面する課題解決に向けて、連携してサポートに取り組んでいます。



2020年度実績

- 一般リース 2,916件
- オートリース うちファイナンス 1,315件
うちメンテナンス 675件
- 割賦 476件

サポート事例 1

設備更新を検討されていた機械部品・自動車部品等の加工業のお客さま。従来は、機械導入元メーカーのリースを利用されていましたが、静岡リースが公的支援策を活用したスキームを提案したところ、調達コストの削減や動産保険の付保、さらには調達手段の多様化などの観点から契約いただくことができました。



ソリューション営業部
法人ファイナンスグループ
秋山 侑

お客さまの経営課題に多方面からサポートを続けています

今回、省エネ設備導入に向けた補助金や、生産性向上特別措置法による固定資産税の軽減など、公的支援策を活用したスキームをご提案しました。また、従来のメーカーリースとの調達コストを比較しながらご説明したところ、「こんな組み合わせのリースがあることを知らなかったし、こんなにコストが違うことも驚いた」と、契約いただくことができました。私自身、以前はリースに関する情報を

キャッチすると、すぐさま静岡リースについていました。でも、昨年1年間、グループ間人財交流を通じて静岡リースに出向し、リース業務を学んだことで、今では、お客さまの課題をどうしたら解決できるのか、自分の頭のなかでストーリーを描きながら提案できるようになりました。今後は、さらに業務の幅を広げて、多方面からお客さまの役に立つ情報を提供していきたいと思っています。

事業の将来を考えたソリューションを提供します

お取引店の支店長から「機械の新規導入を検討されているお客さまに最適な提案をしたい」と連絡をもらい、当時、静岡リースに出向していた秋山さんとともに同行訪問させていただきました。事前に導入予定の機械のことを聞いていたので、その設備が省力化投資につながるということがわかり、公的支援策を活用すれば調達コストを抑えられることなどを説明しました。もちろん、設備投資とは、単に行えば良い

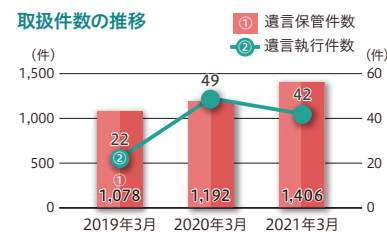
というものではありません。導入することによってお客さまの事業にどのような影響を与えるのか、将来のこともいっしょに考えることが何よりも大切だと思います。こうした意味では、私たちに、多様な金融ソリューションを提供できる多くのグループ会社があります。もし、今、何か不安に感じたり、課題を抱えていらっしゃるようであれば、どんどん私どもにご相談ください。グループ役員がスピード感をもってお答えさせていただきます。



中部カンパニー
飯田 知秀

相続サポート

静岡銀行グループの豊富な商品・サービスを活用して、お客さま一人ひとりのライフプランに応じた最適なご提案に努めています。



2020年度実績

- 遺言信託成約 269件
- 遺産整理成約 48件

サポート事例 2

アパート経営をされている個人事業主のお客さま。以前、ご自身が父親から不動産を相続された経験などから、将来に対する不安を抱えていらっしゃいました。現在、静岡経営コンサルティングが税理士法人などと連携して、法人化を活用した資産承継プランについてご提案しています。



静岡経営コンサルティング(株)
大箸 潤

相続に関するご要望をグループ一体となってサポートします

個人で賃貸不動産を所有されているお客さまから、アパート経営や資産の承継について相談された時、解決策の一つとしてご説明するのが「法人化」です。法人化によって、次世代への円滑な資産承継を実現することで、お客さまの大切な資産を守ることにもつながります。一方、検討事項としては、会社の設立や不動産移転にもなる費用負担などが大きいことがあげられます。また、個人と法人では、税金面での違いもあるため、税理士法人と連携

しながら対応するようにしています。今回のお客さまの場合、相応の賃貸不動産を所有されていたため、法人化によるメリットは大いに期待できると思い、提案させていただきました。私たちは、グループのもつ豊富なソリューションの提供を通じて、お客さまのご要望に幅広くお応えできる体制を整えています。ぜひ、不安に感じたり困っていることがあれば、お気軽にご相談ください。静岡銀行グループが一体となってサポートさせていただきます。

お客さまに安心して相談いただける存在をめざして

お客さまとの出会いは、営業店勤務時に、加入いただいている保険のアフターフォローにうかがったことでした。その際、他の金融機関でアパートローンを利用されていること、数年前に奥さまを亡くされたこと、相続に関する不安を感じていることなどを話してくださいました。そこで、まずは目の前の不安を解消していただくよう、本部やグループ会社に声をかけ、もう一度お会いする機会を作ってくださいました。そして、大箸さんから法人化についてより具体的な説明すると、以前にも検討された経緯があったようで、

前向きな言葉をいただくことができました。私は、この4月に静岡ティーエム証券に出向となり、担当を引き継ぎましたが、きっと大箸さんたちが最後までしっかりと寄り添いながら支援してくれるはず。これからも、お客さまが何を望まれているのか、お客さまのために何ができるのかを常に考えて提案できるよう、幅広い分野を学び、知識を身につけていきたいと思っています。そして、お客さまに安心して相談いただける存在になりたいです。



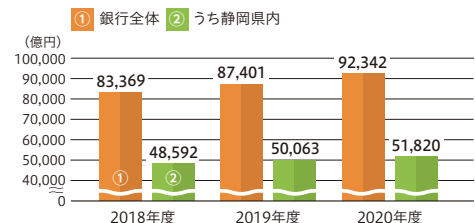
静岡ティーエム証券(株)
永岡 聖野

営業のご報告

貸出金

2020年度の貸出金の残高(平残)は、前期比4,941億円増加し、9兆2,342億円となりました。

貸出金残高(平残)の推移

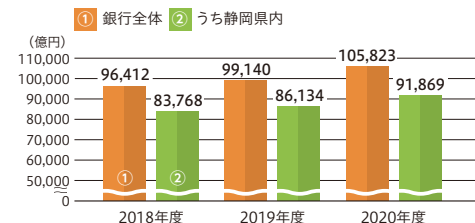


貸出金(平残)のうち静岡県内の割合 **56.1%**

預金

2020年度の預金残高(平残)は、前期比6,683億円増加し、10兆5,823億円となりました。

預金残高(平残)の推移



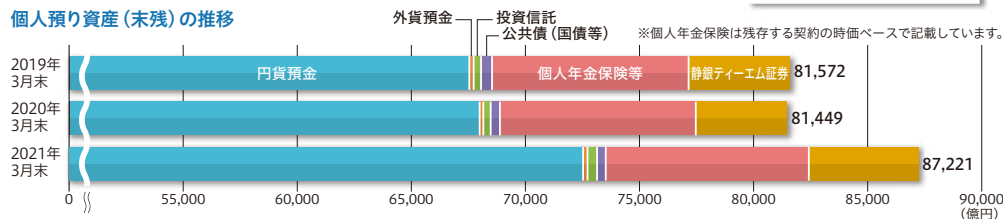
預金(平残)のうち静岡県内の割合 **86.8%**

個人預り資産

2021年3月末の静銀ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は、2020年3月末から5,772億円増加し、8兆7,221億円となりました。

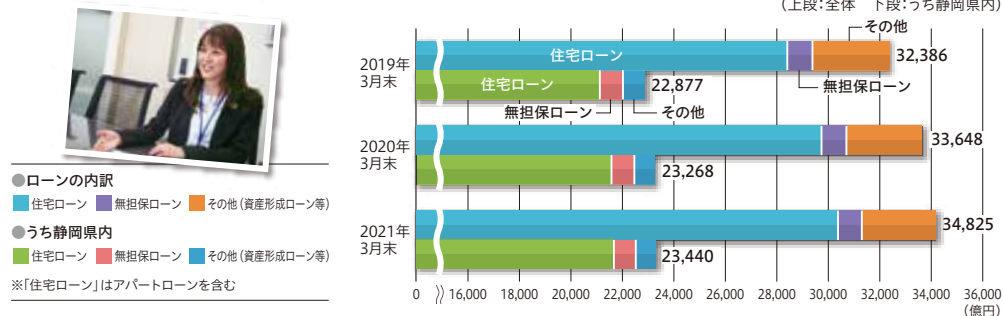


個人預り資産(未残)の推移



ローン

2021年3月末の個人のお客さま向けローンの残高は、3兆4,825億円で、住宅ローンを中心に、2020年3月末より1,177億円増加しました。

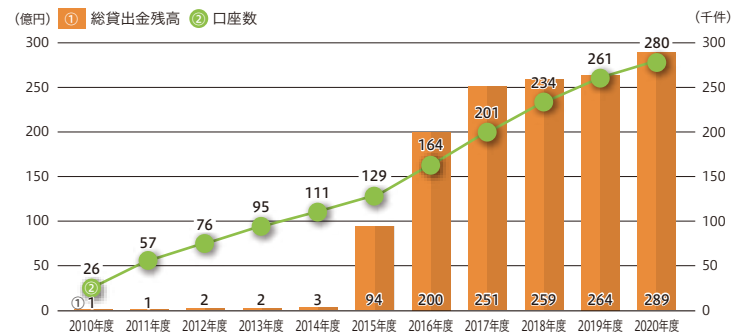


インターネット支店

セブン銀行ATM手数料の無料化、宝くじ付き定期預金など、魅力あふれる商品・サービスを提供し、2021年3月末の口座数は28万口座を超え、総預金残高4,557億円、総貸出金残高289億円となりました。

2020年12月には、非対面金融サービスの強化を目的に、インターネット支店公式アプリ「しずぎんWebWalletアプリ」の取扱を開始しました。

インターネット支店の総貸出金残高(未残)・口座数推移



次世代経営者塾 Shizugin:ship ~経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所

2020年度の活動実績 参加人数のべ **1,587名** 会員数 **726社 1,074名** (2021年3月末現在)

内容	開催実績
フォーラム	1回
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	20回
〈特別企画〉アオハルし放題(高校生とのコラボ企画)	1講座6回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	11講座18回

セミナー 挫折こそ人生において最高の学び
~失敗を成功へ導く心の持ち方~

開催日 2021年3月6日
講師 潮田玲子氏
(元バドミントン日本代表)



参加者の声

- 仕事とスポーツには共通点があり、共感する部分も多く参考になった
- 大きな目標に挑戦すること、目的を明確にしておくことの大切さをあらためて感じた
- 初心に戻り、熱い思いをもって仕事に向き合おうと思った

全体フォーラム 両利きの経営でイノベーションを起こす!
~地域企業が秘める可能性~

開催日 2021年2月25日
基調講演 早稲田大学大学院経営管理研究科教授 入山章栄氏
シンクタンク・ソフィアバンク代表、静岡銀行 社外取締役 藤沢久美氏

参加者の声

- お二人のお話はいへん興味深くおもしろかった
- 現在、直面する課題にダイレクトに響く内容だった
- 今後は、知の探索と深化、課題認識を意識して取り組んでいきたい

地域社会への貢献

文化・スポーツの振興



しずぎんユーフォニア・コンサート

1993年にスタートして以来70回開催し、国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。入場料収入は、公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」に寄付しています。



第70回 上妻宏光 (2021年2月 浜松市)

富士山静岡交響楽団

オフィシャルパートナーとして、静岡県を代表するオーケストラの活動を支援しています。



静岡銀行 presents「クラシック・ポップスコンサート」(2021年5月 静岡市)

しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第25回 桂米團治 (2021年1月 静岡市)

しずぎんカップ

少年サッカー

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU11サッカー大会」、全国各地から小学生が清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。



少年野球

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。



金融経済教育への取り組み



金融講座



常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開講しています。静岡銀行グループの従業員が講師を務め、地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説し、これまでに約2,500名の大学生が受講しています。このほか県内の学校などで、金融や経済に関する教育機会の提供に取り組んでいます。

「エコノミクス甲子園」静岡大会

高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」。10回目を迎えた静岡県大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、オンライン形式で開催しました。静岡大会には45チーム90名が参加し、浜松学芸高校「メタモン」チームが優勝。全国大会では、静岡県代表として初となる決勝戦に進出し、準優勝を獲得しました。



静岡魅力探究プログラム「アオハルし放題」



次世代経営者塾「Shizuginship」が、地域人材育成および交流の深化に向けた取り組みの一環として、静岡県内の高校生を対象に静岡魅力探究プログラム「アオハルし放題」を開催。

高校生、企業経営者、静岡銀行員がチームを組み、静岡の「旅」と「食」をテーマにした商品開発に取り組みました。11高校から55名の高校生が参加し、最終コンテストには、高校生による相互審査を通過した6チームが進出しました。

最優秀賞

「旅」部門	菫山高校「4S TRIP クリエーターズ」/4STRIP(飛行機と船を利用して、どこにも立ち寄らずに県内を周遊する旅)
「食」部門	袋井高校「かぼちゃ」/「ロカボお茶チーズケーキ」お茶とチーズケーキを組み合わせた低糖質なスイーツ缶詰



環境への取り組み

～豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐために



地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実践に向けて、地域の環境保全に取り組んでいます。

「しずぎんエコアイデア・コンテスト」の実施

将来を担う子どもたちに、環境への関心を高めてもらうため、環境問題の改善に向けたアイデアを募集しました。

選考の結果、常葉大学教育学部附属橘小学校の望月まありさんの作品が最優秀賞を受賞しました。このほかにも、優秀賞13名、学校賞2校を表彰しました。



公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」

1993年の設立以来、静岡県内で環境保全に取り組む団体や個人のべ644先に対して、総額8,120万円の活動資金を助成しました。

2020年度助成先

東部地区	ふるさとを楽しくする富士川など11先
中部地区	日本平香る丘など10先
西部地区	ひょうたん池自然を考えよう会など9先



清沢塾

興津川保全市民会議

「しずぎんECO口座」開設にともなう寄付

紙の通帳を発行しない「Web総合口座」と、インターネット支店専用口座「Webwallet」の2商品を「しずぎんECO口座」として推進しています。

2020年度は、紙の削減費用の一部を日本赤十字社静岡県本部に寄付しました。

寄付金額

2020年度上期	2020年度下期
944,200円	1,033,850円



「小さな親切」運動

かけがえのない郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静銀総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、里山づくりやクリーン作戦など、環境保全活動に取り組んでいます。



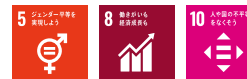
椎の木谷緑地の森林整備活動(2020年11月)



安倍川河川敷の清掃活動(2020年11月)

だれもがイキイキと働ける職場づくり

～従業員満足の上をめざして



多様な価値観をもつ従業員一人ひとりが、それぞれのライフステージに合わせた働き方を実現するとともに、チャレンジできる職場づくりに取り組んでいます。

ダイバーシティ実現への取り組み

■人材の多様化に向けた取り組み

2021年4月、高卒採用7名、スポーツ&アート採用3名、海外からの留学生採用1名を含む191名の新入行員を迎えたほか、多様な知識・経験をもつキャリア採用者(副業を含む)を受け入れています。また、役職員の「兼業」や「副業」を推進し、多様な価値観やアイデアを積極的に取り入れることで、イノベーションの創出を図っていきます。



■女性活躍に向けたキャリアアップ支援



指導的地位にある女性の比率

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
15.0%	15.7%	16.1%	16.9%

指導的地位(課長級以上の役職者)にある女性比率を「2024年3月末までに22%以上にすること」をめざし、マネジメントを担う人材の育成に力を入れ、積極的な配置・登用に取り組んでいます。また、一般社団法人日本経済団体連合会が推進する「2030年までに役員に占める女性比率を30%以上にすること」をめざす「2030年30%へのチャレンジ」に賛同しています。

■男性育児休業取得の推進

働き方や価値観のパラダイムシフトを実現し、だれもが能力を発揮できる環境づくりをめざして、株式会社ワーク・ライフバランス(代表:小室淑恵氏)が主催する「男性育児100%宣言」に賛同しています。男性の育児休業については、「取得率100%以上かつ平均取得期間5日以上」を目標に掲げて、仕事と育児の両立支援を進めています。

男性の育児休業取得状況

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得率	82.1%	62.9%	63.6%	64.7%
平均取得期間	1.7日	1.9日	5.2日	2.8日

人材育成への取り組み

多様化・高度化するお客さまのニーズに、より高い次元でお応えできるビジネスモデルへの変革をめざして、約20年ぶりに人事制度を改定します。「意識・行動変革ツール(OKR)」や「社内ベンチャー制度」の導入により、自律と挑戦を促進するほか、ダイバーシティを強みに変える「ベテラン人材の活躍推進」などにより、一人ひとりの価値観を認め合い個性を掛け合わせることで、従来にはない発想や新感覚を生み出し、組織の活性化に取り組んでいます。



第115期 営業のご報告

基本理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。



静岡銀行の概要

2021年3月31日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	9兆3,272億円
預金	11兆1,519億円
総資産	14兆463億円
連結自己資本比率	16.56% うちCET1(普通株式等Tier1)比率 16.56%
従業員	2,776人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	208店舗 静岡県内 173(本支店152・出張所21) 静岡県外 32(支店26・出張所6) 海外 3(支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

邦銀トップ水準の格付

2021年3月31日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。

	長期格付
ムーディーズ	A1
スタンダード&プアーズ	A-
格付投資情報センター	AA-

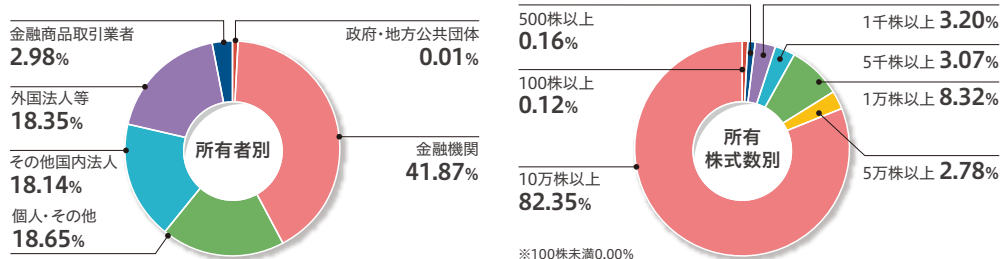
株式情報

2021年3月31日現在

株式の状況

株主数	22,382名 (2020年9月末比256名減)	発行済株式の総数	595,129,069株
		保有自己株式数	21,086,167株

株式の分布状況(単元未満株式を含む)

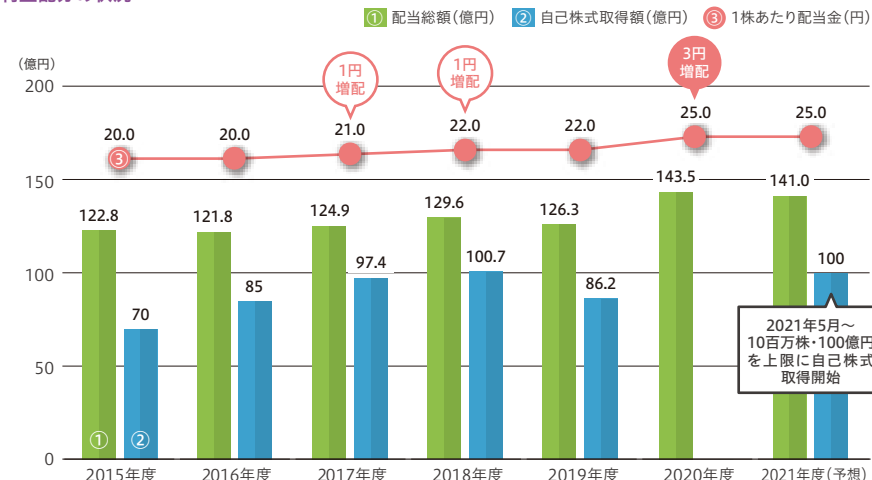


株主還元状況

DATA.01

- 第14次中期経営計画(2020~2022年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%以上(連結ベース)」に則り、2020年度の1株当たり配当額は、期末配当金を公表比+3円の14円とし、年間25円とする予定です。
- 2021年度の1株当たり配当額(年間)は、2020年度期末配当金を継続して、25円を予定しています。

株主への利益配分の状況



配当性向	25.6%	41.5%	24.9%	27.6%	32.6%	32.8%	30.9%
総還元性向	40.2%	70.6%	44.3%	49.1%	54.9%	32.8%	52.9%
親会社株主利益	479億円	293億円	501億円	469億円	387億円	436億円	455億円

健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

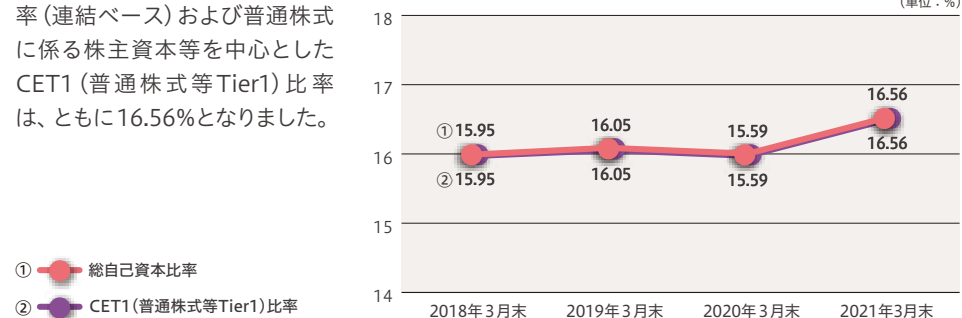
DATA.02

自己資本比率<国際統一基準>は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2021年3月末の総自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心としたCET1(普通株式等Tier1)比率は、ともに16.56%となりました。

総自己資本比率(連結ベース)

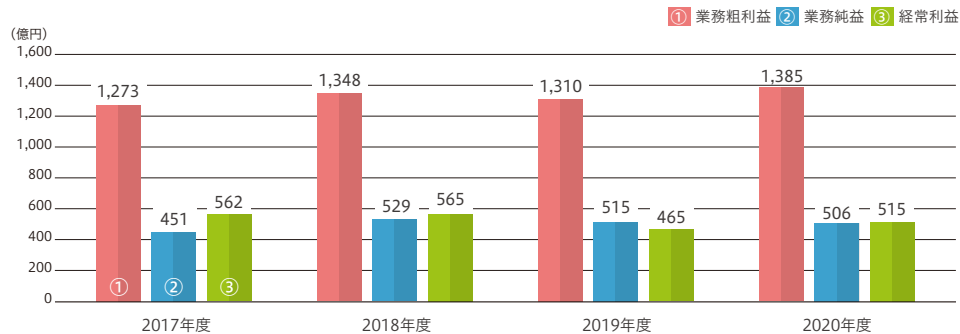
(単位: %)



業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2020年度の業務粗利益は、資金利益の増加などにより増益。業務純益は、一般貸倒引当金繰入額や次世代システム稼働にともなう経費の増加により減益となり、経常利益については、株式等関係損益の増加などによる臨時損益の改善により増益となりました。



主な経営指標(単体ベース)

(単位: %)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年度比
ROE(当期純利益)	4.75	4.50	3.54	3.62	0.08
ROA(当期純利益)	0.40	0.38	0.28	0.27	△0.01
OHR(経費/業務粗利益)	64.55	60.00	60.38	60.96	0.58
1株当たり当期純利益(円)	72.52	72.14	58.05	61.82	3.77

(注)1.前年度比は、表上で算出しています。
2.ROE(当期純利益)は決算短信ベースにて算出しています。
3.2020年度の連結ベースROE(当期純利益・決算短信ベース)は4.16%です。

ROE [Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

ROA [Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

OHR [Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

有価証券評価損益の状況

DATA.04

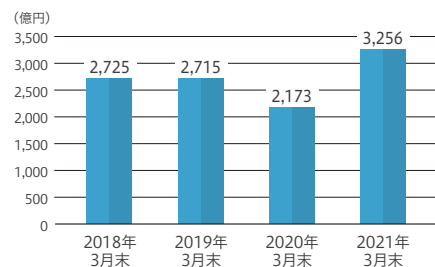
2021年3月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+3,256億円と2020年3月末に比べ1,084億円増加、うち株式評価損益は+3,214億円と2020年3月末に比べ1,099億円増加しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

日経平均株価

2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末
21,454.30円	21,205.81円	18,917.01円	29,178.80円

有価証券評価損益(単体ベース)

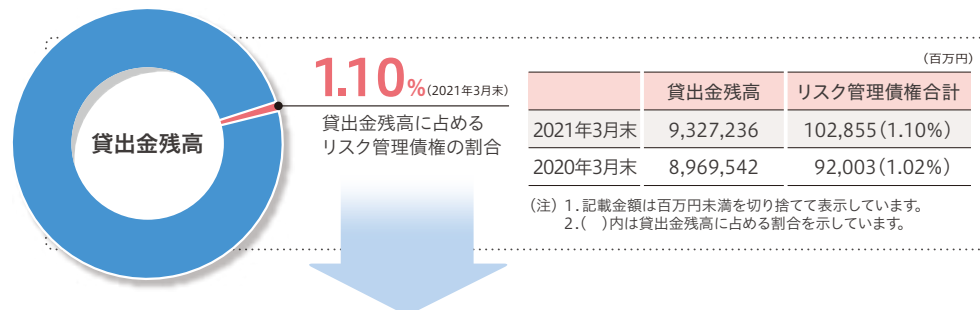


リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権の状況(単体ベース)

2021年3月末のリスク管理債権の総額は1,028億円、貸出金残高に占める割合は1.10%と低水準を維持しています。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は84.26%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額97億円、信用保証協会の保証付貸出金378億円、担保・引当金等392億円を控除した実質的なリスク管理債権は162億円で、貸出金残高に占める割合は0.17%です。

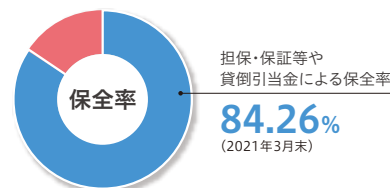


(注)1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2.()内は貸出金残高に占める割合を示しています。

リスク管理債権の内訳

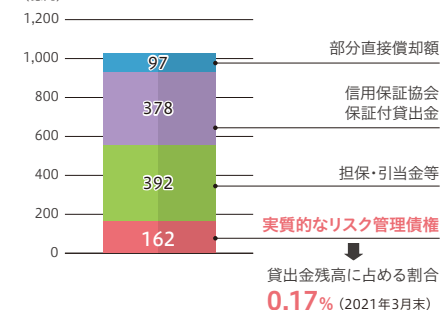
(百万円)

破綻先債権額	6,209 (0.06%)
延滞債権額	82,778 (0.88%)
3カ月以上延滞債権額	776 (0.00%)
貸出条件緩和債権額	13,092 (0.14%)



実質的なリスク管理債権

(億円)



金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

2021年3月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は1,029億円、総与信残高に占める割合は1.08%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は84.28%となっています。

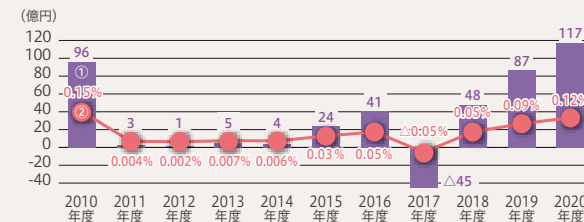
与信関係費用の状況(単体ベース)

2020年度の与信関係費用は117億円、与信関係費用比率は0.12%となりました。

① 与信関係費用
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益

② 与信関係費用比率
= 与信関係費用 / 貸出金平残

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位: 百万円)

貸借対照表(連結)

科目	2020年度末	科目	2020年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	2,097,487	預金	11,076,800
コールローン及び買入手形	150,926	譲渡性預金	69,105
買入金銭債権	31,524	コールマネー及び売渡手形	102,210
特定取引資産	18,464	売現先勘定	357,952
金銭の信託	104,100	債券貸借取引受入担保金	143,311
有価証券	1,954,159	特定取引負債	3,016
貸出金	9,303,121	借入金	890,515
外国為替	14,474	外国為替	609
リース債権及びリース投資資産	83,747	社債	33,783
その他資産	192,273	新株予約権付社債	33,213
有形固定資産	57,611	信託勘定借	214
無形固定資産	50,051	その他負債	119,631
退職給付に係る資産	13,057	退職給付に係る負債	3,423
繰延税金資産	3,159	役員退職慰労引当金	357
支払承諾見返	55,644	睡眠預金払戻損失引当金	786
貸倒引当金	△53,901	偶発損失引当金	1,369
投資損失引当金	△54	ポイント引当金	460
		特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	78,052
		支払承諾	55,644
		負債の部合計	12,970,470
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	743,157
		自己株式	△20,371
		株主資本合計	868,516
		その他有価証券評価差額金	231,196
		繰延ヘッジ損益	△98
		為替換算調整勘定	1,212
		退職給付に係る調整累計額	2,800
		その他の包括利益累計額合計	235,111
		新株予約権	330
		非支配株主持分	1,419
		純資産の部合計	1,105,378
資産の部合計	14,075,848	負債及び純資産の部合計	14,075,848

損益計算書(連結)

科目	2020年度
経常収益	230,787
資金運用収益	122,279
(うち貸出金利息)	98,971
(うち有価証券利息配当金)	21,860
信託報酬	2
役務取引等収益	71,952
特定取引収益	3,553
その他業務収益	12,504
その他経常収益	20,493
経常費用	167,437
資金調達費用	9,096
(うち預金利息)	3,201
役務取引等費用	39,746
その他業務費用	5,463
営業経費	93,715
その他経常費用	19,414
経常利益	63,349
特別利益	902
特別損失	3,560
税金等調整前当期純利益	60,691
法人税、住民税及び事業税	21,209
法人税等調整額	△4,240
法人税等合計	16,969
当期純利益	43,722
非支配株主に帰属する当期純利益	83
親会社株主に帰属する当期純利益	43,638

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表(単体)

科目	2020年度末	科目	2020年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	2,074,765	預金	11,151,993
コールローン	150,926	譲渡性預金	72,905
買入金銭債権	31,524	コールマネー	102,210
特定取引資産	17,812	売現先勘定	351,236
金銭の信託	104,100	債券貸借取引受入担保金	143,311
有価証券	1,987,386	特定取引負債	3,019
貸出金	9,327,236	借入金	853,988
外国為替	14,010	外国為替	615
その他資産	162,809	社債	33,783
有形固定資産	54,013	新株予約権付社債	33,213
無形固定資産	50,605	信託勘定借	214
前払年金費用	9,540	その他負債	79,609
支払承諾見返	109,878	退職給付引当金	2,117
貸倒引当金	△48,216	役員退職慰労引当金	167
投資損失引当金	△54	睡眠預金払戻損失引当金	786
		偶発損失引当金	1,369
		ポイント引当金	409
		繰延税金負債	76,365
		支払承諾	109,878
		負債の部合計	13,017,194
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	673,124
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	582,278
		自己株式	△20,371
		株主資本合計	798,482
		その他有価証券評価差額金	230,470
		繰延ヘッジ損益	△141
		評価・換算差額等合計	230,329
		新株予約権	330
		純資産の部合計	1,029,142
資産の部合計	14,046,337	負債及び純資産の部合計	14,046,337

損益計算書(単体)

科目	2020年度
経常収益	180,067
資金運用収益	123,883
(うち貸出金利息)	99,018
(うち有価証券利息配当金)	23,402
信託報酬	2
役務取引等収益	31,298
特定取引収益	874
その他業務収益	12,512
その他経常収益	11,495
経常費用	128,561
資金調達費用	9,225
(うち預金利息)	3,305
役務取引等費用	15,407
その他業務費用	5,463
営業経費	85,137
その他経常費用	13,327
経常利益	51,506
特別利益	974
特別損失	3,549
税引前当期純利益	48,931
法人税、住民税及び事業税	17,907
法人税等調整額	△4,460
法人税等合計	13,446
当期純利益	35,485

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<https://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>

連結子会社(13社)

- 静岡経営コンサルティング(株)
経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静岡リース(株)
リース業務
- 静岡ITソリューション(株)
コンピューター関連業務/計算受託業務

- 静岡信用保証(株)
信用保証業務
- 静岡ディーシーカード(株)
クレジットカード業務/信用保証業務
- 静岡ITキャピタル(株)
株式公開支援業務/中小企業再生支援業務

- 静岡ディーエム証券(株)
金融商品取引業務
- 静岡総合サービス(株)
人事・総務・財務関連業務
有料職業紹介業務

- 静岡モーゲージサービス(株)
銀行担保不動産の評価・調査業務
貸出に関する集中事務業務
- 静岡ビジネスクリエイト(株)
為替送信・代金取立等の集中処理業務
労働者派遣業務

- 欧州静岡銀行
銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited
金銭債権の取得

- しずぎんハートフル(株)
各種文書の作成・印刷・製本業務

持分法適用関連会社(3社)

- 静岡セゾンカード(株)
クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株)
金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンズ投信(株)
投資運用業務/投資信託販売業務

※2021年3月31日現在

静岡銀行グループが一体となって 多彩な金融ソリューションを提供します。

経営コンサルティング業務

静岡経営コンサルティング

M&A、事業承継、経営相談、経営改善計画など、企業経営に関する幅広いコンサルティングニーズにお応えします。

IT関連業務

静岡ITソリューション

静岡銀行グループ各社のIT戦略の実現を支援するとともに、地域のお客さまへのITソリューションを提供していきます。

リース業務

静岡リース

さまざまな用途の機械・器具・設備や、建機、自動車のリースなど、お客さまの設備導入ニーズにお応えします。

金融商品取引業務

静岡ティーエム証券

投資信託やファンドラップ、債券、株式など幅広い商品ラインアップにより、多様化・高度化するお客さまの資産運用ニーズにお応えします。

ベンチャー支援

静岡キャピタル

ベンチャー投資や事業承継、再生支援など、さまざまなファンドを活用して、地域の中小企業の支援に取り組んでいます。

クレジットカード業務

静岡ディーシーカード

カード会員・加盟店に各種クレジット機能を提供し、利用者の利便性向上と地域の消費活動の活性化に取り組んでいます。

クレジットカード業務

静岡セゾンカード

静岡での暮らしをサポートする「ALL-Sカード」など、地域の事業者と生活者をつなぐサービスを提供しています。

金融商品取引業務

マネックスグループ

お客さまのライフスタイルを豊かにする未来志向のオンライン金融サービスを提供しています。

金融商品取引業務

コモンズ投信

お客さまの資産形成を長期的に支援するため、投資信託などの商品・サービスを提供しています。

※お客さまに直接サービスを提供するグループ会社、持分法適用関連会社を記載しています。



この印刷物には、環境に配慮した
植物油インクを使用しています。



静岡銀行